



自立と誇りある
日本をつくり
ます

自民党

自民党員を募集しています！詳しくはスタッフまで！

自由民主党衆議院議員【埼玉 3 区（草加市・越谷市）】

成熟した国家としての外交を～最近の日韓関係から～

トピック:自立と誇りある日本！

TICAD7が横浜で開催され党代表として参加他

きかわだステーション



第 69 号

きかわだひとしFBはこちら！友達募集中！↑↑↑

衆議院議員黄川田仁志事務所発行 電話 048-933-0591

成熟した国家としての外交を～最近の日韓関係から～

自由民主党衆議院議員の黄川田仁志です。今夏行われました、参議院議員選挙、並びに、埼玉県知事選挙では、多くの皆様にご指導、ご協力を賜りました。引き続き、努めて参りますので、ご指導、ご鞭撻の程、よろしくお願い申し上げます。

さて、我が国は、輸出管理に関する最優遇対象国、いわゆる「ホワイト国」から韓国を除外しました。今回の措置は、大量破壊兵器等に転用できる戦略物資の輸出管理に疑わしい事案が続出したためであり、安全保障上、運用を見直す必要性があつたことです。経済産業省はこの件について韓国に対し 3 年間にわたって、輸出管理制度の協議を呼びかけていました。しかし韓国側からは全く反応がありませんでした。この結果、韓国との輸出管理上の信頼関係が失われたため、今回の措置に至った次第です。今後は、軍事転用可能な先端素材や工作機械等を韓国に輸出する際には、原則として個別の許可が必要となります。つまり、正当な取引と確認できた輸出は許可されるもので、禁輸したものではありません。

しかしながら、報道等でご承知のとおり、韓国国内では反日的且つ感情的な反発が起き、全く別次元であるGSOMIA（軍事情報包括保護協定）の延長拒否が決定される等、日韓関係は、今後も予断を許さない状況にあります。

そんな中、18 歳以下の野球の日本代表選手団が、ワールドカップに出場するため、韓国入りしました。その際、JAPAN や日の丸が付いたポロシャツではなく、白い無地のポロシャツを着ていました。日本高校野球連盟（以下、高野連）が、日韓関係の悪化を受け、日の丸のついていないポロシャツを着用することを決定したためです。そして、一部の報道では、高野連事務局長が「韓国の国民感情に配慮して、日本を前面に出すのはやめようと思っている」と発言したことを伝えています。私は、今回の高野連の対応がとても残念でなりません（※）。

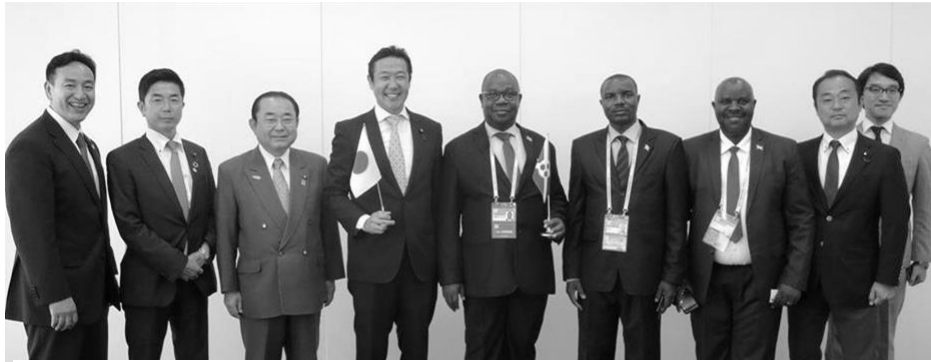
このような対応は、日本の子供たちを含む国民全体に、日本は国の誇りが無くてもよいという誤った考えを広げることにもなります。また、韓国のみならず世界各国からも、日本は誇りの無い国だと笑いものになるでしょう。今回の高野連の対応は世界的に見ても滑稽であると思いますし、こんなことをする国は聞いたことはありません。私は「誇り」という価値観は、国にも、地域にも、個人にも、必要なものであると考えています。確かに、日本と韓国は、現在、大変難しい状況にあります。だからこそ、正々堂々と JAPAN や日の丸が付いたポロシャツを着用すべきですし、日本国の代表に選ばれたことに誇りを持ってプレーして欲しいのです。

これまでの日韓関係は、歴史的背景から、日本側が、自国に誇りを持つことや、自らの意見を主張することを自重する傾向にありました。今回の高野連の対応も同様です。しかし、成熟した国家であるならば、互いを尊重し、自らの考えを主張し、話し合いながら共存していくべきです。その意味で、一連の日韓の外交問題は、未来に向けた新しい日韓関係のはじまりと捉えるべきなのではないでしょうか。私は、自民党外交部会長代理として、このような姿勢で、今後も日韓の外交問題に取りくんで参る所存です。※高野連は現地の方針を変え 8 月 29 日から日の丸をつけた服装で移動することになりましたが、最初の対応が間違っていることに変わりはないと考えます。

令和元年 9 月吉日 黄川田仁志

トピック:自立と誇りある日本!

TICAD7(第7回アフリカ開発会議)が横浜で開催され党代表として参加



ブルンジ共和国・外務大臣等と港湾開発や JICA 支援について会談



ナミビア共和国・副首相兼外務大臣と再会

8月28日(水)~30日(金)に、横浜市内で、TICAD7(第7回アフリカ開発会議)が開催され、自民党日本アフリカ友好議員連盟の役員として、アフリカ各国首脳との会談を行いました。私が主に担当した国々と国際機関は、衆議院議員初当選以来のお付き合いのブルンジ共和国、昨年私が訪問し外務大臣等と懇談したナミビア共和国、私が外務大臣政務官時代に訪問したボツワナ共和国、そして、国連の難民支援機関であるUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)です。

TICADは、日本が立ち上げたアフリカ開発に関する首脳級の国際会議で、現在は3年毎に開催されています。アフリカは、2050年に世界の人口の1/4、25億人に達すると言われ、最後のフロンティアとして、世界中が開発や投資に注目しています。わが国は、アフリカの経済成長を実現し、その恩恵が貧困層も含めて広く社会に行き渡るような「バランスのとれた安定的な成長」を実現することが重要と考えています。今回のTICAD7で採択された横浜宣言2019では、アフリカ各国との間で、海洋安全保障における協力促進と国際法の諸原則に沿ったルールに基づく海洋秩序の維持の重要性を確認し、我が国が進める「自由で開かれたインド太平洋」構想の重要性を共有しました。

トピック:永田町だより

中川・綾瀬川流域の改修促進のため要望活動を実施!



大塚国交副大臣・岸田自民党政調会長等に要望

8月1日(木)に、浅井昌志草加市長が会長を務める「中川・綾瀬川流域改修促進期成同盟会」の皆様と、中川・綾瀬川流域の早期改修促進を目指し、関係機関に対し要望活動を実施しました。主な要望先は、岸田文雄自民党政調会長、大塚高司国土交通副大臣、塩見英之国土交通省水管理・国土保全局次長他です。

令和2年度の治水事業予算の大幅確保、首都圏外郭放水路建設事業の延伸区間の検討を要望しました。特に、草加市内、越谷市内の水害対策に必要な、中川中上流部右岸区間の築堤等の促進、八潮排水機場等の増設について、強く要望させていただきました。

岸田政調会長や大塚国土交通副大臣からは、昨今の全国的なゲリラ豪雨による災害の発生も鑑み、早期の対応が必要であるとのお話をいただきました。今後、同期成同盟会とも連携して、改修促進に向けご協力いただける旨、回答をいただきました。草加市、越谷市にとって、河川の課題は大変重要です。引き続き、取り組んで参ります。



きかわだひとしとは?…自民党衆議院議員3期目。東京理科大学卒業、米州「ラド」大学大学院修了。昭和45年生。趣味は剣道、空手、野球、落語。妻、長女と越谷市内に在住。第3次安倍改造内閣で外務大臣政務官(北米・中南米担当)。衆議院では、外務委員、法務委員、憲法審査会委員。党では、国際局長、外交部会長代理、サイバーセキュリティ対策本部幹事を務める。海洋政策が専門。